

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成25年3月21日 (2013.3.21)

【公開番号】特開2011-204461 (P2011-204461A)

【公開日】平成23年10月13日 (2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2010-70449 (P2010-70449)

【国際特許分類】

H 0 1 H 25/00 (2006.01)

H 0 1 H 25/06 (2006.01)

H 0 1 H 9/04 (2006.01)

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 25/00 N

H 0 1 H 25/06 A

H 0 1 H 9/04 B

H 0 4 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月1日 (2013.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機器本体と、該機器本体の内部に配備されたレバースイッチとを具え、該レバースイッチは、スイッチ本体と、該スイッチ本体に対して少なくとも一方向へのレバー操作が可能なレバー部とから構成され、前記機器本体には、その表面に前記レバースイッチのレバー部を露出させる窓が形成されている電子機器において、

前記機器本体は、前記レバースイッチのスイッチ本体を収容する開口が設けられた収容部材と、該収容部材に接合されて前記機器本体の表面の少なくとも一部を形成するカバー部材とを有し、該カバー部材に前記窓が形成されており、前記カバー部材の背面側には、前記収容部材の開口を覆う弾性シートが配備され、該弾性シートは、前記収容部材とカバー部材との接合面と重なる位置まで拡がった形状を有し、該弾性シートの外縁部が前記収容部材とカバー部材との接合面間に介在しており、前記弾性シートには、前記レバースイッチのレバー部の少なくとも先端部が挿入される有底筒状部が形成され、該有底筒状部は、前記弾性シートの表面から突出していることを特徴とする電子機器。